

音声アシスタント

Cortana を使ってみよう

Windows 10の新機能のうち、特に注目なのが「Cortana (コルタナ)」だ。パソコンに話しかけるだけで、さまざまな機能をアシストしてくれる。今回はCortanaの使い方を紹介しよう。

岩淵 茂 (edit Ka0) =ライター

話しかければ秘書のようにアシストしてくれるCortana



図1 Windows 10注目の新機能が「Cortana (コルタナ)」だ。今までパソコンで調べ物をするには、Webブラウザを起動して、キーボードで文字を入力する必要があった。しかし、Cortanaを使えば、パソコンに話しかけるだけでいろいろなことを調べることができる。また、予定やリマインダーの登録も、Cortanaと会話するだけで簡単にできる

●Cortanaはこのように動作する

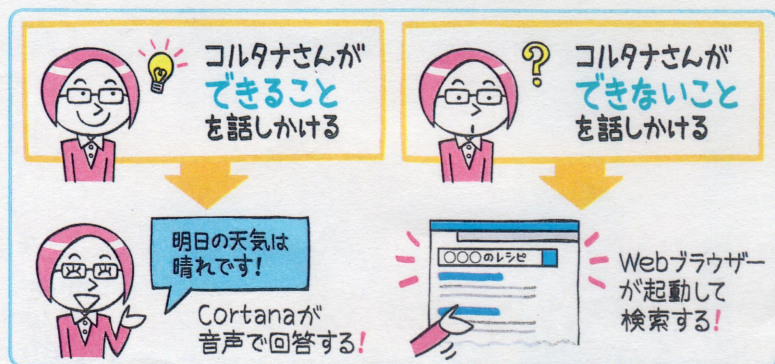


図2 Cortanaができることを話しかけると、音声で回答して処理が行われる。Cortanaができないことを話しかけたときは、Webブラウザが起動し、話しかけた内容が検索される

イラスト：森 マサコ

Windows 10には多くの新機能が搭載されているが、その中でも特に注目の新機能が「Cortana (コルタナ)」だ。Cortanaは、パソコンに話しかけるだけで、予定やリマインダーの登録、Webの検索ができる音声アシスタントだ。この機能を使えば、キーボードに不慣れな人でも、簡単にパソコンを操作できる(図1)。

Cortanaができることを話しかけると、すぐに回答してくれるが、できないことを話しかけられたときは、そのままWeb

●Cortanaの初期設定を行う

を検索する。なお、Cortanaができることは今後のアップデートで増えていく予定だ(図2)。

初めに初期設定する

Cortanaを使うためにはまず初期設定を行う。この初期設定は、ほんの数ステップで終わる。ボタンをクリックするだけなので、誰でも迷うことなく設定することができるだろう(図3)。

Cortanaを音声で操作するには、マイクの初期設定も必要だ。マイクの初期設定では、表示された文章をマイクに向かって読み上げる(図4、図5)。

なお、Windows 10にアップグレードしたパソコンの場合、内蔵マイクが対応していないというメッセージが表示されることがある。このメッセージが表示されても、そのまま設定は進められる。

ただし、設定を完了しても動作の保証はされていない。内蔵マイクが利用可能かどうかは、お使いのパソコン製造元に問い合わせしてほしい。対応マイクでも、音声が入り正しく認識されないこともある。

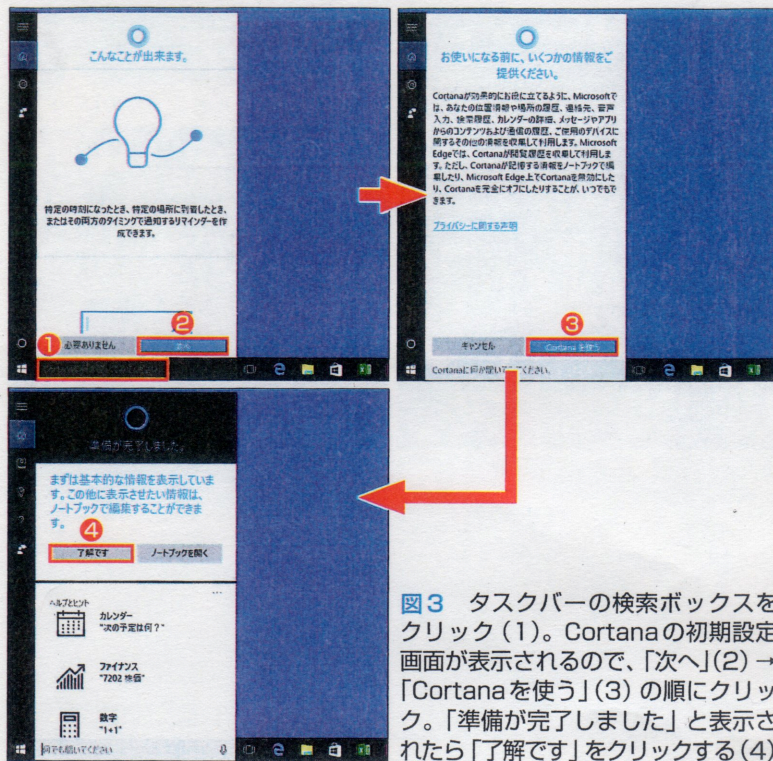


図3 タスクバーの検索ボックスをクリック(1)。Cortanaの初期設定画面が表示されるので、「次へ」(2)→「Cortanaを使う」(3)の順にクリック。「準備が完了しました」と表示されたら「了解です」をクリックする(4)

●マイクの初期設定を行う

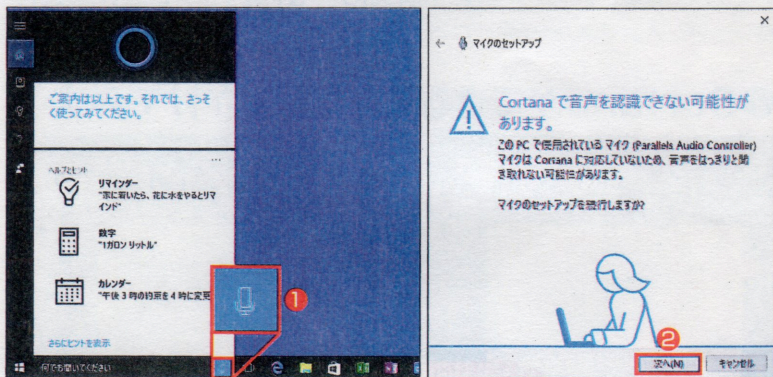


図4 検索ボックスのマイクのアイコンをクリックする(1)。マイクのセットアップ画面が表示されるので、「次へ」をクリックする(2)

音声が入り認識されない場合

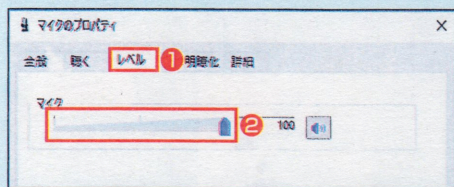


図6 読み上げた文章が正しく認識されない場合、「マイクの位置は適切ですか?」と表示される。もし正しく認識されない場合は、通知領域のスピーカーアイコンを右クリック→「録音デバイス」をクリックして、使用しているマイク名を選択して「プロパティ」をクリックする。「レベル」タブをクリックし(1)、マイクのレベルを調整する(2)

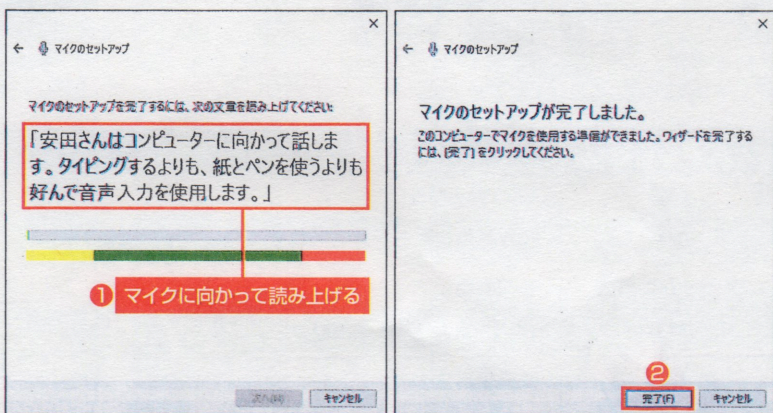


図5 表示された文章をマイクに向かって読み上げる(1)。読み上げた文章が正しく認識されると、セットアップが完了した旨のメッセージが表示されるので、「完了」をクリックする(2)

●CortanaでWeb検索してみよう

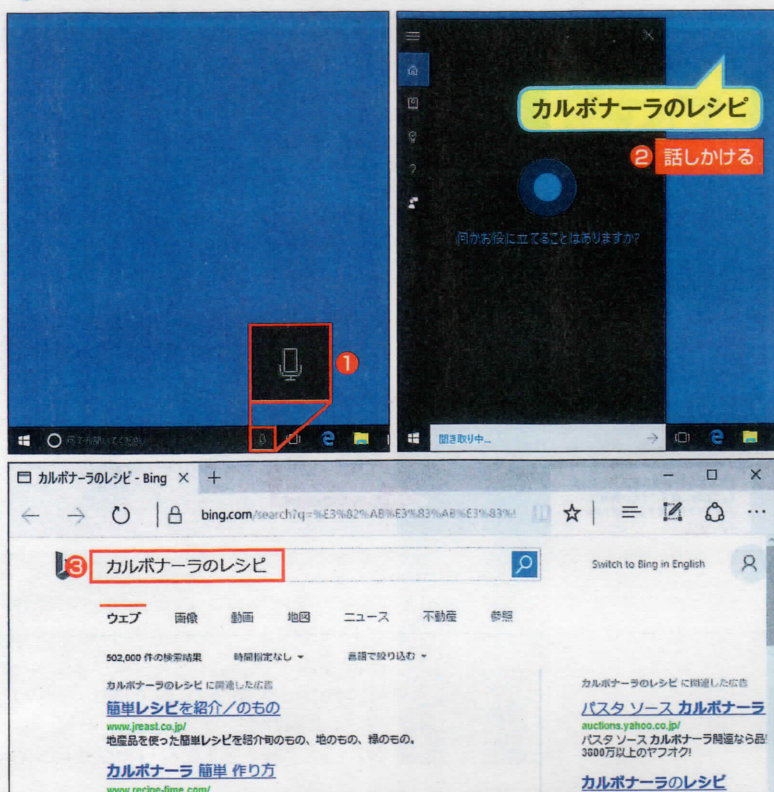


図7 検索ボックスのマイクアイコンをクリックする(1)。Cortanaが起動するので、検索したいことを話しかける(2)。話し終わるとEdgeが起動し、話しかけた内容でWeb検索される(3)

●Cortanaができることを話しかけてみよう

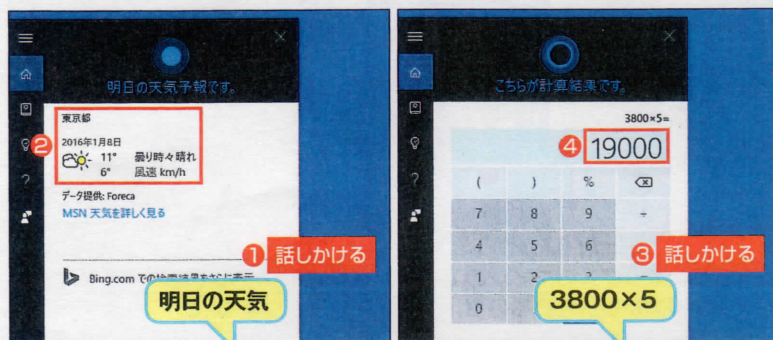


図8 Cortanaに「明日の天気」と呼びかけると(1)、現在いる地域の天気予報を音声と表示で回答する(2)。「3800×5」と呼びかけると(3)、計算結果を回答する(4)

できること	話しかける内容の例
計算	「100割る25」
天気	「明日の天気」「〇〇(地名)の天気」「今の地震の震度」
アラームの設定	「午後4時にアラーム」「1時間後に起こして」
為替レート	「100ドル」「50ユーロ」
音楽	「音楽を再生」
フライト情報	「JAL54便」「ANA264便」

図9 Cortanaは天気や計算だけでなく、アラームの設定や為替レートの確認などでもできる

そういうときは、マイクのレベルを調整してから再度話しかけてみよう(図6)。

Cortanaに話しかけてみよう

初期設定が完了したら、Cortanaに話しかけてみよう。例えば、カルボナーラのレシピを調べたいと思ったら、「カルボナーラのレシピ」と話しかける。話かけ終わると、音声を認識し、Edgeが起動して話しかけた内容が検索される(図7)。

話しかける内容によっては、Cortanaがそのまま回答してくれる。例えば「明日の天気」と話しかければ、現在地の明日の天気予報が表示される(図8)。

Cortanaができることは、計算やアラームの設定、フライト情報の確認などだ。アルファベットが含まれるものは、1文字ずつ読み上げる必要がある(図9)。

例えば、「JAL54便」のフライト情報を調べるときは、「ジェイ・イー・エル・ごじゅうよんびん」と読み上げる。「ジャルごじゅうよんびん」だと調べられない。

コルタナは雑談も可能だ。おみくじの

Cortanaの隠し機能を楽しむ

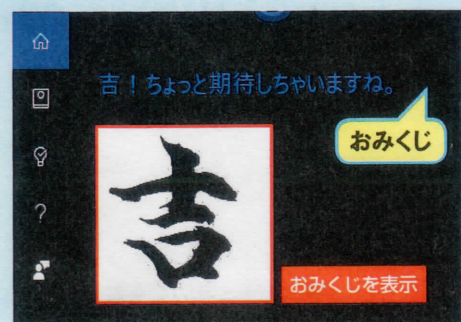


図10 Cortanaとは雑談も可能だ。「性別は?」や「年齢は?」と話しかけると、ユニークな回答が返ってくる。また、いくつかの隠しコマンドもあり、「おみくじ」と話しかけると、おみくじが引ける

●対話形式でリマインダーを登録する

ような隠しコマンドもあるので、いろいろと話しかけてみると楽しいだろう(図10)。

リマインダーを登録する

Cortanaでリマインダーを登録するには、「リマインダーの登録」と話しかける。内容や時間など、Cortanaに聞かれたことに対して答えていく(図11、図12)。

なお、「来週の水曜日の午前10時に会議をリマインダー登録」と話しかければ、すぐにリマインダーが登録できる。

登録したリマインダーはCortanaやカレンダーで確認できるので、正しく登録できているかチェックしておこう(図13)。

Cortanaに話しかけていなくても認識してしまうようなときは、Cortanaをオフにしておくといいだろう(図14)。

もっと簡単にCortanaを起動させたいときは、「コルタナさん」をオンにする。こうすると、「コルタナさん」と話しかけるだけでCortanaを起動できる(図15)。

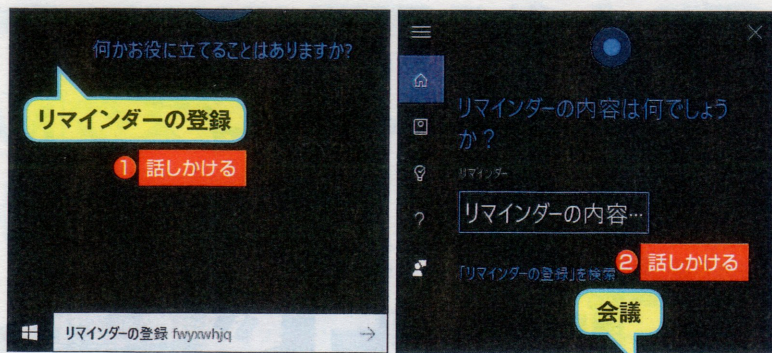


図11 Cortanaに「リマインダーの登録」と話しかける(1)。リマインドする内容を聞いてくるので、「会議」や「買い物」など登録したい用件を話しかける(2)

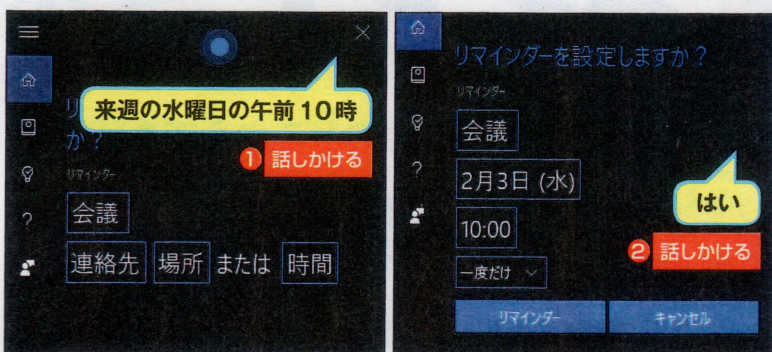


図12 用件を認識すると、次にいつリマインドするかを聞いてくる。「明日の午後5時」や「来週の水曜日の午前10時」のように日時を話しかける(1)。登録するリマインダーの内容が表示されるので、問題がなければ「はい」と返事する(2)

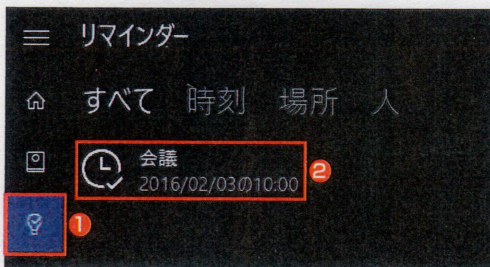


図13 登録したリマインダーは、Cortanaのリマインダーアイコンをクリックするか(1)、「予定を確認」と話しかけると表示される(2)

●Cortanaの設定を変更する

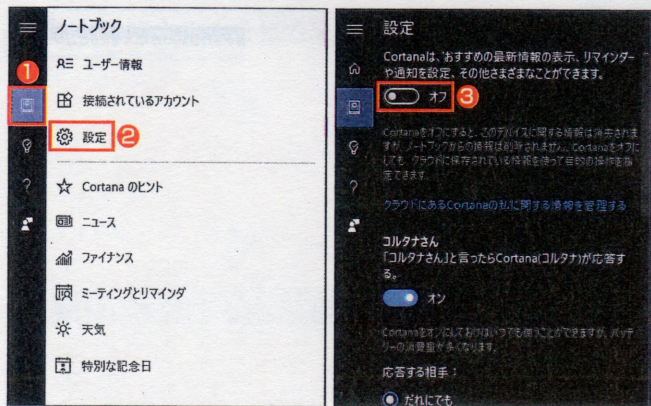


図14 Cortanaを使いたくないときは、検索ボックスをクリックしてノートブックアイコン(1)→「設定」(2)の順にクリックする。「Cortanaは、おすすめの最新情報の表示、リマインダーや通知を設定～」をオフにする(3)

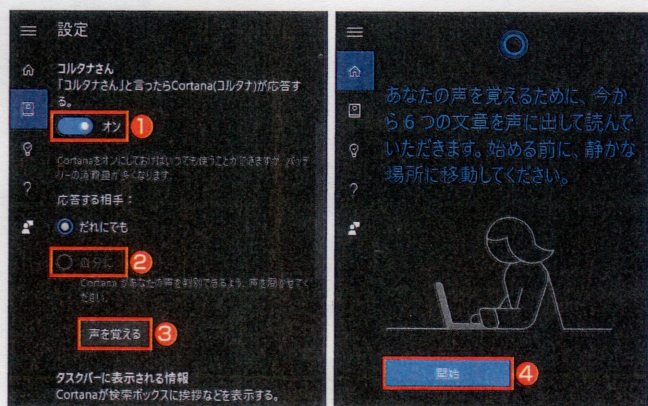


図15 話しかけるだけで応答させるには、「コルタナさん」をオンにする(1)。自分の声だけに応答させるには、「自分に」を選択し(2)、「声を覚える」をクリック(3)。「開始」をクリックし(4)、画面の指示に従って文章を読み上げる